

家庭でできる自家リサイクル型生ごみ処理器

ごみけしくん

CP55

< 採光・通気コンポスター分解方式 >

取扱説明書

この度は、生ごみ処理器「ごみけしくん」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。上手に使いこなして、末永くご使用いただくためによく説明書をお読みください。



「ごみけしくん」は、生ごみ自家処理の最大の悩みである臭いと虫を抑え、不快感をなくして、毎日出る生ごみが処理でき、電気を使わずに環境にやさしく、誰でも気軽に取り組めるように考えました。

処理した生ごみ堆肥は植物を育てる土として使い、その土を再度生ごみ処理に使うため、自己完結型の生ごみ自家処理が達成できます。

その結果、生ごみがなくなれば、燃やせるごみ量を大幅に減らすことができ、その他の燃やせるごみが資源化しやすく、地球温暖化防止対策やダイオキシン発生防止策にもつながり、地球環境の改善に貢献できます。

この説明書は、生ごみ分解処理のやり方、堆肥活用についての基本的事項を示したものです。生ごみの分解処理は、生ごみの種類や量、分解の環境によって各家庭、分解槽ごとによっても出来栄が違います。

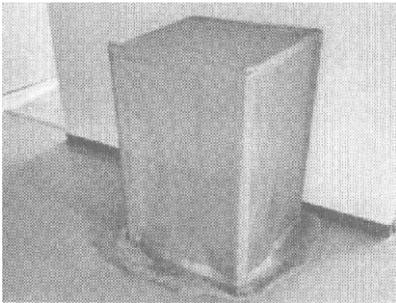
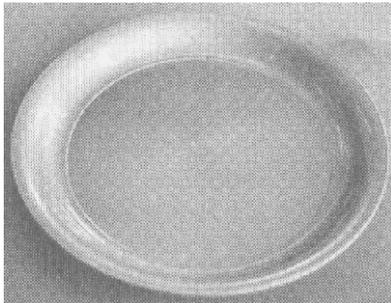
魚の粗などは多少手間がかかりますが、野菜くずと土を混ぜるととても良い堆肥となります。また、廃食油や米ぬかなどは分解温度を上昇させる役割をします。寒い時期など分解がなかなか進まない場合は、それらを分解促進剤に混ぜて使うと有効です。

各家庭でいろいろ試しながら、楽しく生ごみ処理をしてください。

創意工夫によっていろいろな可能性がひらけます。皆さんもぜひ挑戦してみてください。

「ごみけしくん」の構成

<p>本体に付属してあるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分解槽（本体） 1 槽 ・ 通気蓋 1 枚 ・ 熟成袋 3 袋 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>設置する際にお届けするもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル堆肥 1 袋 ・ 園芸用スコップ 1 本
<p>サイズ</p> <p>高さ 5 1 cm</p> <p>幅 4 8 cm</p> <p>容量 5 5 ℓ</p>	<p>材質</p> <p>分解槽：プラスチック（PP・PE・PET）、金属、鉄</p> <p>通気蓋：プラスチック（PP・PE・PET）</p>

<h2>別売り品</h2>	
<p>・ 防虫ネット</p>  <p>サイズ 5 0 cm × 5 0 cm × 9 5 cm</p>	<p>・ 受け皿</p>  <p>サイズ 4 9.5 cm 円筒 × 6 cm</p>

< 部材販売先 >

社会福祉法人 ななえの里

就労継続支援B型 **ともしび工房**

国分寺市西恋ヶ窪4-10-2

(清掃センター隣)

TEL 042-324-7071

< 別売り品価格表 >

品名	数量	単価(税込)
防虫ネット	1 個	¥2,800
受け皿	1 個	¥1,200
通気蓋	1 枚	¥3,000
熟成袋	1 袋	¥500

「ごみけしくん」の働き

生ごみの分解熱で、生ごみの水分を蒸発させながら高温好気分解をする、採光通気コンポスター方式の生ごみ処理器です。

設置場所

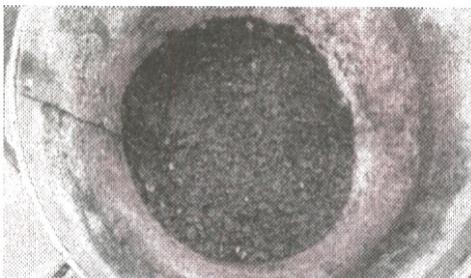
- ①なるべく太陽光が当たる風通しの良い場所を選んでください。
- ②コンクリートなどの硬い床面か、ブロック、敷板等の上に設置してください。

準備

- ①リサイクル堆肥を袋から7～8分目程度、分解槽に投入してください。

「ごみけしくん」の使い方

1、生ごみを入れる前



2、生ごみを投入（500gから800g）



4、スコップで攪拌



3、分解促進剤を投入
（分解がうまく進んでいない場合）



本体を廻しながら、底から攪拌するのがコツです。

生ごみが隠れる位を目安に入れます。
（1カップ180ccを2カップ位）



-悪い例-

たまごの殻、鶏の骨、ティパックの紙など、「ごみけしくん」の中に入れてはいけないものを入れた状態です。

ごみが消えず、乾燥した状態で残っている悪い状態です。

使用方法

- ① 生ごみを三角コーナーなどで水切りし、リサイクル堆肥を生ごみと同じくらい槽内に入れ、槽内全体をスコップで、よくかき混ぜてください。
槽内を斜めにした状態でスコップでかき混ぜると、よりよく攪拌できます。
- ② 三角コーナーやボウルに溜まった生ごみは、早く処理してください。
長時間放置したままにすると、不快な虫の発生の原因になります。
- ③ 米飯、麺類、塩分の多い残飯などは、0.2~0.3ℓ程度の量に小分けして、①の手順で処理してください。
- ④ 悪臭と不快な虫の発生を防ぐため、魚のアラ、腐敗した肉などは、加熱してから①の手順で処理してください。
- ⑤ 卵の殻、貝殻、大きな魚の骨、または西瓜の皮やとうもろこしの皮や芯などの分解しにくい大きな生ごみは、5ℓ以下の大きさに粉砕して①の手順で処理してください。
大きな状態で投入すると、攪拌が難しく、分解が阻害されます。
- ⑥ 食べ残しの汁は捨て、固形物のみを①の手順で処理してください。
- ⑦ 槽内の床土が乾燥気味の場合は、軽く握った時の内容物がダメになる程度に加水すると、分解が促進します。
ただし、スイカの皮などの水分が多い生ごみを入れる場合は、むしろ乾燥気味の状態の方が臭いや虫を抑えます。
- ⑧ 米ぬかと天ぷら油などの廃油を、20 : 1（例えば米ぬか4ℓに対して廃油0.2ℓ）で混ぜたものを、分解促進剤として使用できます。米ぬかと天ぷら油などの廃油によって槽内が昇温し、分解促進に大きく役立ちます。
(米ぬかは、お米屋さん又は農協などで購入できます。)

処理できるもの

食品残さ類、残飯、野菜くず、魚類（アラは要加熱）、肉類、腐敗食品残さ

処理時間がかかるもの（できるだけ避けた方がよいもの）

鶏や魚の骨、貝殻、カニ、エビなどの殻、枝豆や玉ねぎなどの皮、とうもろこしの芯や皮

処理できないもの

タバコ、ゴム、乾燥剤、ビニール袋、プラスチック類、毒物、劇薬、危険物、高塩分食材
金属類（スプーン、針金など）、落ち葉、剪定葉、雑草など、人の口に入れられないもの

よい分解状態

槽内が暖かく感じ、表面や内部に白いカビが見えたら、分解が進んでいるよい状態です。

分解がうまく進んでいない場合

処理開始当初2～3日は、分解が進まず温度が上がらない状態がありますが、分解促進剤を2～3カップ（1カップ180g）入れて、よく攪拌してください。

臭いの発生と対策

槽内で臭いが発生した場合、分解促進剤を2～3カップ入れてよく攪拌し、リサイクル堆肥を床土の上面部に多めに被せておきます。

不快虫の発生と対策

蛆虫（うじむし）のほとんどは、アメリカミズアブの幼虫で、生ごみを食べてくれる働きもあり、臭いも発生させませんが、5月～10月にかけて大量発生する事があり、繁殖力、生命力がとても強く厄介です。しかし、この虫は不快感以外の害はありません。

アメリカミズアブの大量発生の原因として、分解槽の外部や底部に卵を産み付け、一週間位で孵化した幼虫が分解槽の中に侵入し、大きくなる事が考えられます。

卵は薄黄色の房状をしています。通気蓋や底部などの周辺に卵を産み付けられていないか、時々確認してください。見つけたときには、歯ブラシなどで取り除くか、少量の熱湯をかけるなど、いくつかの防虫対策の中から適宜選んで処置してください。

※ 虫の発生を防ぐには、防虫ネット（別売り）があるとかなり防ぐことができます。

予防対策

- ① 5月～10月は、防虫ネットで分解槽・蓋全体を覆います。この対策は確実に効果があります。
- ② 樟脳、パラゾールなどの防虫剤を、防虫ネットの底部、蓋部メッシュの上に各3～4個置きます。

熟成と床土の再利用

分解槽内が6分目位に増えたら、なるべく槽内底部からスコップなどですくい取り、熟成袋に移し替えてください。その後に袋のひもを縛り、日の当たる風通しのよい場所で吊り下げるか、発泡スチロール箱などに置きます。

夏期であれば3～5週間、冬期であれば2～3ヶ月を目安に熟成します。

* 熟成の済んだ分解物は、新しい腐葉土を加えて床土として再利用できます。

プランターと畑地での利用

畑土と熟成土（分解槽の底部のものでもよい）を、2：1の割合で混ぜ合わせたものをプランターに入れ、夏期で2週間ほど置いてから、堆肥として利用します。

畑地での利用は、熟成土又は分解槽内の分解土を畑地に広く散らすようにすき込み、夏期で1週間、冬期で1ヶ月放置してから、植物生育土として利用します。

植物生育土の手引き

植物生育土の調整が終わったら、小松菜などの種をまき、発芽確認を兼ねて育ててください。家庭菜園には、成長が早くすぐに収穫できる菜類がよいです。小松菜、二十日大根、チンゲン菜、リーフレタス、春菊、三つ葉、小型玉ねぎなどがあります。

園芸では、早く花が咲くと移植ができる、パンジー、デイジー、インパチェンス、松葉ぼたん、小型コスモス、チューリップなどがあります。

肥料はほとんど不要ですが、ナスの場合は、腐食済み油かすなどを追肥してください。

水やりは種まき時に、また植え付け後は多めになど、生育状況を見て適宜行なってください。

使用上の注意

- ① 処理できないものは、投入しないでください。
- ② 生ごみ処理器には、火を近づけないでください。
- ③ 生ごみ処理器の上には、ものを置かないでください。
- ④ 通気蓋は、外したままにしないでください。不快虫発生の原因になります。
- ⑤ スコップなどを使用する場合は、エッジ部で分解槽を傷付けないように注意してください。
- ⑥ 強風時、蓋が飛ぶのを防ぐため、槽体の手掛けと蓋の支柱をひもなどで固定してください。
- ⑦ 台風や大雪の場合は、蓋が飛んだり破損する恐れがあるので、安全な場所に移してください。

材料の入手方法

- ① 腐葉土は、園芸店などで購入してください。
- ② 米ぬかは、お米屋さん又は農協などで購入してください。
- ③ 構成部材の入手や取り扱いについてのお問い合わせは、ごみ減量推進課にご連絡ください。

お問い合わせ先

〒501-6215

岐阜県羽島市正木町須賀赤松 177

有限会社 エコメイト

TEL : 058-391-3369

FAX : 058-216-1460

<http://www.ecomate.info>

〒185-8501

東京都国分寺市泉町二丁目2番18号

国分寺市建設環境部 ごみ減量推進課

TEL : 042-312-8681

FAX : 042-325-1380